



第8回 清水寺で世界を語る

～すべての人に健康と福祉を～



清水寺の境内に京都のNGOや教育機関、バレエ団が集結

ブースで世界の課題を知り、自分には何ができるのか一緒に考える機会を提供するイベントです

日時:2020年11月3日(祝・火)11:00~16:00

申込不要・参加費無料

場所:清水寺(南苑付近、経堂)

※雨天決行ですが、天候により、一部実施できない企画があります。荒天の場合は、会場となる清水寺の判断に準拠します。

桧垣バレエ団による演目披露(経堂)



- 【演目】「ジゼル」第2幕より「ジゼル幻想」
- 【出演】小西裕紀子 福島元哉
- 【上演時間】
第1回 13:30~
第2回 14:00~
- 【舞台】株式会社京都舞台美術製作所 (石田恒憲、宮原直美)
- 【照明】株式会社リュウ (宮島靖和)
- 【音響】岩塚広之



テス大阪 イメージ写真

ブース出展(南苑付近)

11:00~16:00

NGOによる活動紹介・物品販売、教育機関の活動発表・展示

SDGs市民社会ネットワーク、テラ・ルネッサンス、日本国際民間協力会、京都学園中学・高等学校、京都府立北稜高校

コーヒーなど世界のフェアトレード商品販売や京都学園柔道部による投げの形披露、京都府立北稜高校の生徒が制作したSDGsに関連する作品の展示を実施します。

新型コロナウイルス感染症対策について

ご来場の皆様は、マスクの着用のご協力をお願いいたします。また、運営として下記の通り、感染症対策を実施いたします。

経堂にて:アルコール除菌スプレーの設置、観覧者が密集、密接にならず2mの間隔を確保できるように、会場整理を実施します。

南苑付近にて:アルコール除菌スプレーの設置、スタッフのマスクの着用、金銭の授受がある場合、コイントレーの使用、こまめな消毒や手洗いなど「新しい生活様式」に基づく行動を徹底します。

また、当イベントに関わるスタッフは、当日外出前に検温を実施し、発熱等の症状がある者はイベントの参加を控えます。こまめな消毒や手洗いなど、新しい生活様式に基づく行動を徹底、休憩時間や待合場所等を含め、三密(密集、密接、密閉)の環境を作らないよう徹底するほか、そこにおける交流等を極力控えるように努め、感染拡大防止に向けて最大限の対策を講じ、イベントを実施してまいります。

主催:清水寺で世界を語る実行委員会

音羽山清水寺 一般社団法人桧垣バレエ団 一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク 認定NPO法人テラ・ルネッサンス
公益社団法人日本国際民間協力会(NICCO) 京都学園中学高等学校 京都府立北稜高等学校
後援 京都府 京都市 京田辺市 日本国際連合協会京都本部 京都府教育委員会 京都市教育委員会 京都府国際センター

出展団体紹介

一般社団法人 SDGs市民社会ネットワーク

一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク（SDGsジャパン）は、持続可能な社会の実現を目指して2016年に設立された、日本の市民社会組織が中心のネットワーク組織です。SDGs達成に関心の高い、民間企業、研究機関、国際機関、政府、自治体などとの連携を進め、130余りの市民社会団体と活動しています。

SDGsの基本解説をした書籍「そうだったのか。SDGs 2020」は高校や大学でテキストとしても採用されており、ウェブサイトでの一般向け販売もしています。

認定NPO法人 テラ・ルネッサンス

テラ・ルネッサンスは、2001年に設立し、地雷、子ども兵、小型武器の課題に取り組む認定NPO法人です。カンボジア、ラオス、ウガンダ、コンゴ、ブルンジ、日本で活動を行っています。

アジア地域では、地雷や不発弾の被害に苦しむ人々への支援、アフリカ地域では、元子ども兵や紛争被害者の人々への支援を中心に活動を行ってきました。ブースでは、フェアトレード商品の販売と、子ども兵や地雷について、わかりやすく解説します。

公益社団法人 日本国際民間協力会（NICCO）

NICCO（ニッコー）は、1979年に発足した京都生まれの国際協力NGOです。「駆けつける。そばにいる。」をモットーに、現地の人々の力を信じ、人々に寄り添いながら、支援を続けています。41年間、世界22カ国で、緊急災害支援、環境に配慮した自立支援、人材育成に取り組んできました。現在は、ケニア、ヨルダン、インド、フィリピンと、日本国内（宮城県、滋賀県）で活動しています。ブースでは、フェアトレード商品の販売と活動紹介を行います。



NGO相談員ブースもあります

NICCOは外務省の委託を受け、「NGO相談員」として、NGO活動全般、ボランティア・インターン、就職、フェアトレード、寄付、各国の情報など幅広い分野で情報提供やアドバイスをしています。お気軽にご相談ください。

京都学園中学高等学校

柔道は日本古来に伝わる伝統の武道で、その基本理念は「精力善用」「自他共栄」とされています。精力善用とは「修行を積み磨かれた能力を、世の中の役立つことに使い貢献する」という意味で、自他共栄とは、「互いに信頼し、助け合って、自分もほかの人も共に栄えて、素晴らしい世の中をつくる」という意味です。

柔道を通して、世界中に平和の精神を広めるため、今回は「形」と呼ばれる攻撃防御の理合いを習得するための稽古法のうち「投の形」を披露します。技を掛ける「取（とり）」と技を受ける「受（うけ）」の息の合った動きを是非ご覧ください。

京都府立北稜高等学校

(1) SDGsについて学んでいる生徒が、社会の課題とSDGsを「ひも付け」して考えた事をポスターにしました。ポスターは四角いオブジェとして展示するので、セルフィー撮影に最適です。

(2) 天文学部はSDGsの目標達成のため、学校の近所にある鞍馬山の風倒木調査を行うとともに、風倒木を使ったSTEAM教育のためのツールを考えました。今回は調査の様子を展示・紹介するとともに、風倒木で作った「変化する教育ツール」を鑑賞・体感していただき、空間に対する多彩な価値観をシェアできればと思っています。

*コロナ拡大防止のため、本校の発表は最小限の人数で、生徒の安全を最優先に考え実施します。不足が生じるかもしれませんが、予め御了承ください。

一般社団法人 桧垣バレエ団

古典バレエを上演する一方、日本独自の作品創造に意欲的に取り組む。オリジナル作品の京都劇場での公演、ロームシアター京都オープニング記念事業としての公演など、自主公演は69回を数える。

2005年、ヨーロッパに進出、ベルリン公演を実施。

2014年6月には、「みつこーMITSUKOー黒髪の伯爵夫人」をゆかりの地ウィーンで、2015年5月には、10度目の海外公演となる「椿姫」をフィレンツェ・ヴェルディ劇場で上演、欧州各地で日本のバレエを精力的に紹介し、現地の観客を魅了、高い評価を得ている。2013年以来経堂でのバレエ奉納を続け本年は7度目となる。

「みつこーMITSUKOー黒髪の伯爵夫人」は、平成16年度文化庁芸術祭賞大賞を受賞した。